

# 日本共産党議員団先進地視察報告書

## 1 視察先・目的

### (1) 鹿児島県志布志市

ごみの分別、資源化について

### (2) 宮崎県日南市

テナントミックスサポート事業について

## 2 期日

平成30年10月9日から10月10日まで

日本共産党議員団視察報告書

日 時	平成 30 年 10 月 9 日（火）午後 2 時 30 分から午後 4 時 30 分まで								
視 察 先	鹿児島県志布志市								
視 察 項 目	ごみの分別、資源化について								
視 察 者	日本共産党議員団（久野たき、中平 猛）								
視 察 内 容	<p>(1) 取組に至った経緯</p> <p>志布志市はごみ焼却場を持たない自治体で、全てのごみを埋立処分していた。しかし、埋立最終処分場が平成16年度でいっぱいになるという問題が発生し、対策が必要となった。その対策としてごみ焼却施設の建設が検討されたが建設費やランニングコスト、焼却施設建設地の選定に住民の理解が得られないことなどから焼却施設の建設は断念し、ごみの分別処理の徹底で資源化とごみ減量化を進め、最終処分場の延命化を図る方法に転換した。</p> <p>(2) 取組内容</p> <p>ごみは、資源ごみ、生ごみ、粗大ごみ、一般ごみの 4 種類に分別が行われている。</p> <table border="1" data-bbox="414 918 1109 1209"> <tr> <td>①資源ごみ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 27品目に分類</li> <li>・ 収集は月 1 回</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>②生ごみ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集は週 3 回</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>③粗大ごみ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸別収集（2 トンまで無料）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>④一般ごみ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集は週 1 回</li> <li>・ 直接、埋め立てられる。</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>(3) 効果、課題等</p> <p>平成16年にはいっぱいになる予定だった最終処分場が、あと30年は大丈夫という状態になっている。市レベルではあるがごみのリサイクル率が12年連続1位になっている一方で山林などへの不法投棄がふえており、その対策が課題である。また、高齢者のごみ出しも課題となっており、玄関先からステーションまでごみを運ぶごみ出し困難者対策事業などを実施している。</p>	①資源ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 27品目に分類</li> <li>・ 収集は月 1 回</li> </ul>	②生ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集は週 3 回</li> </ul>	③粗大ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸別収集（2 トンまで無料）</li> </ul>	④一般ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集は週 1 回</li> <li>・ 直接、埋め立てられる。</li> </ul>
①資源ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 27品目に分類</li> <li>・ 収集は月 1 回</li> </ul>								
②生ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集は週 3 回</li> </ul>								
③粗大ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸別収集（2 トンまで無料）</li> </ul>								
④一般ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集は週 1 回</li> <li>・ 直接、埋め立てられる。</li> </ul>								
所 感	<p>視察中、担当職員から「この面倒くさい分別処理は、市民の協力なしにはできないことです。」という言葉がたびたび使われ、市民と行政の共同の事業であることがうかがわれた。また、事業を始めるに当たっては職員が地域に出かけ何度も説明会を開催したとのことで、このような取り組みから信頼関係が作り出されているのではないかと感じた。</p> <p>ごみの中でも多くの割合を占める生ごみの堆肥化が可能な背景には、農業、酪農などが盛んな自治体であることも関連していると思われるが、本市においても農業の活性化を図るためにも取り組むべき手法であると感じた。</p> <p>現在の日本のごみ行政は燃やすことを前提にして、ごみ焼却場やその維持管理に莫大な税金を投入している。また、地球温暖化による災害等は人々の暮らしに大きな影を落としている。ごみ処理に関連する諸問題を根本から問い直していかなければならないと改めて考えることができた視察であった。</p>								

日 時	平成 30 年 10 月 10 日（水）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで
視 察 先	宮崎県日南市
視 察 項 目	テナントミックスサポート事業について
視 察 者	日本共産党議員団（久野たき、中平 猛）
視 察 内 容	<p>(1) 事業実施に至った経緯</p> <p>日南市にある油津商店街は、昭和 40 年ごろは活気にあふれていたが、空き店舗の増加や小売販売額の減少などにより衰退し、猫も歩かない油津商店街とやゆされるようになった。こうした状況から、日南市内の消費循環の促進を図るため、魅力ある商店街の復活を目指した。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>地域密着型で進めていきたいと考え、テナントミックスサポートマネージャーとして民間人を登用し、日南市に移住をしてもらい事業を開始し、次の目標達成指標を掲げ実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗活用の検討、業種バランスなどの配置計画の策定及び事業者の誘致並びに適正な配置→4 か年で 20 店舗の誘致</li> <li>・タウンマネジメント体制の整備</li> <li>・賑わい創出に係るソフト事業などのサポート及び共同体制の構築</li> <li>・その他中心市街地の活性化に資する新規事業の提案及び実施</li> <li>・商店街の既存店舗の経営改革などに係るリニューアル指導、支援及び商店主、地権者との信頼関係の構築</li> </ul> <p>(3) 実績及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業開始 4 年目で、店舗誘致は 29 件、I T 企業が 10 社進出した。 →求人要望の多い事務職の誘致を進めた。</li> <li>・平成 29 年 4 月に子育て支援センターが開所した。また、企業がふえたこともあり、商店街に小規模保育施設が誕生し、多くの子育て世代が利用している。</li> </ul> <p>(4) 今後の課題と方針</p> <p>雇用の増加や生活者の増加による消費増といったチャンスを活かし、油津商店街を持続可能な商店街にしていくとともに、市街地全体の集客増を図る。</p>
所 感	<p>長引く不況による消費の減少や大型ショッピングモールの進出によって、今ではシャッター街と化した商店街は全国各地に多く存在する。寂れた商店街の活性化はこうした状況下ではコミュニティの機能を維持させるなど非常に多くのよい影響を生むと考える。油津商店街での取り組みは委託による丸投げ的な手法ではなく、地域に密着し地域とともに作り上げていくことによって、様々な相乗効果があると感じた。特に雇用の創出についての取り組みでは職種別に求人数と求職者数を比べ、求人数を上回る職にスポットを当て実質的な雇用を生んだ点は、企業誘致を行っている本市にとっては非常に参考になる事例であると感じた。</p>